

# 索道安全報告書

令和6年度 長岡市古志高原スキー場

長岡市古志高原スキー場 ペアリフト

## 1. 利用者の皆様へ

本年度も順調な降雪により予定通り12月25日にオープンすることができましたその後も適度な降雪があり昨年できなかった年末年始の休みも順調に営業出来ていい年明けとなりました。その後も今シーズンは週末に好天の日が多く雪も潤沢にあり入場者も昨年を大きく上回りました。イベントや行事も予定通り開催でき2月24日にファン感謝デーのイベントも予定通り行い多くの方よりご来場をいただきました。2月には2度も大きな寒波に見舞われ大雪となりました最大445cmの積雪を記録しましたが新雪を楽しみにしたボーダーの方たちが多く来ていただき賑やかなスキー場となりました。今シーズンも最終日まで予定通り営業出来大勢の方より古志高原スキー場をご利用いただき心より感謝申し上げます

機械の点検や整備作業を行い、故障や事故が起きないように取り組んでまいりましたが2月27日山頂降り場にて搬器と乗客の衝突事故が発生膝を怪我する事案が発生しましたいくら注意をしてもほんの少しの油断で事故が発生してしまうことを実感しました。幸い怪我も軽症でしたので一日も早い回復を願うのみですまたこれを機に今後このような事故が発生しないよう従業員一同気を引き締めて参りたいと思います。今シーズンを通してみれば悪天候や強風による営業中止が少なく雪の心配もない良いシーズンでした。これからも当社として皆様の安全を第一に考えて索道の運転に努め参り大勢の皆様から楽しんで頂けるように努力してまいりたいと思います。加えてお客様が安心して楽しくご利用頂ける様にアンケートやお客様からの声は真摯に受け止めていろいろと創意工夫し安全で楽しめるスキー場になるように頑張ります。

今年度は駐車場の防犯工事やゲレンデの改修工事を行い少しでも安心して楽しくスキー出来るよう努力してまいりました来シーズンも多くの方々にご来場いただけるようお願い申し上げます

株式会社山古志観光開発公社 代表取締役社長 田中 仁

## 2. 基本方針と安全目標

### 【1】基本方針

当社の基本理念の第一は安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、代表取締役以下従業員全員に周知、徹底しております。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及びそれに関する規則(本規定を含む)をよく理解するとともにこれを順守し、原生、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故、災害等が発生した時は、人命を再優先に行動し、すみやかに安全かつ適切な処置を取ります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

### 【2】安全目標

- (1) 索道運転事故及び、負傷者ゼロを目標とします。
- (2) 全社一丸となり、目標に向けて安全輸送に取り組む所存です。

## 3. 事故の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道事故発生 1 件 監視の強化 従業員教育の確認
- (2) 災害(地震、風害、豪雪など)ありません。
- (3) インシデント(事故の兆候)ありません。
- (4) 行政指導ありません。

#### 4. 輸送の安全のための取り組み

##### (1) 人材教育

救助訓練

AED 救急法

従業員教育

スキー場安全研修会の参加

モービル、圧雪車の講習参加

新人索道研修会参加

##### (2) 各種索道研修会への参加

本年度はモービルの講習会へ2名参加、パトロールスキー場安全研修会に2名参加、索道技術研修会2名、主任技術研修会は、1名が参加、と多くの研修会にも参加をしてきました

(3) 索道は日本ケーブル社により定期点検を行い、従業員の日々の点検では、不良箇所が発見された時は素早く当社またはメーカーによる修理を行うようにしています。

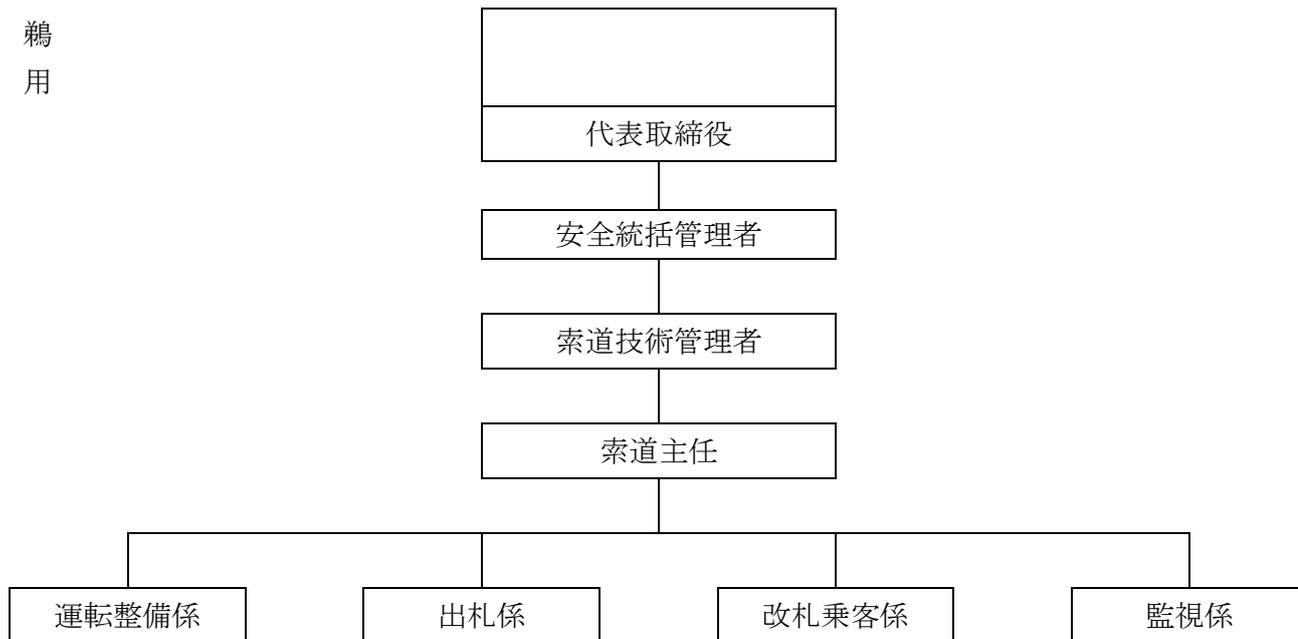
(4) 電気は東北電気保安協会より毎月 1 回の定期点検を受け、不良箇所等の指摘を受けた時は長岡市と協議の上で対応している。

(5) 索道、ゲレンデのパトロールを昨年同様しっかり行い、点検表を用いて確実に実施していることが確認できるようにしている。

#### 5 当社の安全管理体制

代表取締役社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

鵜  
用



代表取締役	輸送の安全の確保に関する最終的な責務を負う。
安全統括責任者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者指揮の下、索道の運行を管理、索道施設の保守および管理、そ

	のほかの技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道主任	索道技術管理者指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

## 5. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) 2024～2025 シーズンは多くの方よりご利用いただきに感謝申し上げます。来シーズン向けには事故が起きないように従業員の教育および安全管理に努め、安全なスキー場を目指し、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。お客様からお寄せいただきましたお声は真摯に受け止め、より信頼される安全なサービスが提供できるよう役立てます。場内には注意看板を設置したり場内放送を活用し事故防止に繋げて参りたいと思います。

(2)各所にアルコールや検温機を設置又、食堂、休憩所ではインフルエンザや新型コロナ感染症対策として今年度も自動の検温器やウイルス対策の空気清浄機を設置しました。又ジェットタオルの稼働も始めました

### (3)リフト乗車時の注意事項

- ① 乗り方に慣れないお客様は、係員にその旨お申し出ください。
- ② リフト乗車中は、空き缶、そのほかの物品を、投げ捨てないでください。
- ③ 搬器を揺らしたり、飛び降りたりしないでください。
- ④ 衣類、携行品、髪の毛等が施設に巻き付かないように注意してください。
- ⑤ リフトが急停止することがありますので、前方を注視し、肘掛け等に捕まり、静かに乗車願います。
- ⑥ グローブ、ストックなどを落とさないようにお願いします。(今シーズンは看板設置)
- ⑦ リフトに乗りながらの携帯電話の使用は禁止です(緊急な時は除く)

(4)古志高原スキー場では安全を考慮して新雪上滑走具の利用はお断りをしています。詳しくは直接お問い合わせください

(5)場内への動物の持ち込みは管理上の観点から禁止していますどうぞご理解ください。

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

〒947-0204

新潟県長岡市山古志竹沢甲 910

長岡市古志高原スキー場

Tel 0258(59)3500 fax 0258(59)2346

<mailto:info@koshikogen.com>

〒947-0201

新潟県長岡市山古志種苧原 4526

あまやちの湯

株式会社山古志観光開発公社

Tel 0258(59)3620